



# メルボルン日本人学校 2012年 年間報告

6 Ellington Street, Caulfield South  
VICTORIA 3162

T (03) 9528 1978

F (03) 9528 6150

[melko@jsm.vic.edu.au](mailto:melko@jsm.vic.edu.au)

<http://www.jsm.vic.edu.au/index.html>

## I . 校長挨拶

今年で28年目を迎えるメルボルン日本人学校の前身は、昭和47年9月に創立されたメルボルン補習校でした。昭和61年5月に現在の場所（6 Ellington Street, Caulfield South VICTORIA）で、児童・生徒数96名でメルボルン日本人学校としてスタートしました。平成2年頃には子どもたちの人数がプレップ（幼稚園部）を含めると150名を超えることもありました。現在はプレップ3名、小学部33名、中学部17名、合計53名の子どもたちが元気に楽しく学習を進めております。設立母体でありますメルボルン商工会議所、学校運営理事会や保護者会の皆様をはじめとして、オーストラリア政府・ビクトリア州政府・日本国政府・海外子女教育振興財団などの多くの方々に支えられて今日を迎えるに至っております。

本校では従来から、国際社会に生きる日本人としての自覚と誇りをもって、世界に羽ばたく人材の育成をめざした学習活動の実践と、日本の学習指導要領に基づく教育課程の編成を行い、「確かな学力」をさらに「質の高い日本の教育」へ、また、オーストラリアの地の利を生かした活動により「豊かな心」の育成に努めています。

平成21年度からは、コミュニケーション能力の向上と英語教育（ESL）に力を入れていきます。英語力の向上はもちろん、「全教科を通じて話し合い活動を充実させ、コミュニケーション能力を高めていこう」と教職員一同、気持ちを一つにして取り組んでいます。その一環として、少人数の利点を生かしながら、自由に自分の意見を言える雰囲気作りと、友達の意見を聞いて自らの考えを高めていく場を常に設定する授業づくりを工夫していきます。また、二人のネイティブのESL（第2言語としての英語）教員が、「英語が使える日本人の育成」にも力を入れていきます。さらに、現地校との交流の回数も増やし、交流学习の充実を図っています。その結果、英語の力が飛躍的に向上しています。

少人数学級編制による、きめの細かい行き届いた心配りのできる環境で、「質の高い日本の教育」を目標にして、文部科学省より全国から選抜された、卓越した力量をもつ経験豊かな教職員が日々努力を積み重ね、教育活動に邁進しています。その結果、24年度に中学部を卒業した生徒は全て、日本各地の第一希望の高等学校に進学することができました。偏差値65以上の学校に入学できたのも、「質の高い日本の教育」を実践し、きめ細やかな個別指導を徹底した結果であると自負しております。

また、21年度に、ヴィクトリア教育省より、「特別学校」として認可され、カリキュラムについては、オーストラリアの教育内容に合わせることなく、日本のカリキュラムに沿って授業することが認められました。ナップランの試験は、子どもたちの英語力を確かめるために行っておりますが、教えている内容が他の学校と異なりますので、結果は比較の対象にはならないものと考えております。

## II . 本校の教育目標

本校は、メルボルン周辺に在住する日本人子女及び、今後日本において日本の教育を受ける予定のある者に対して、オーストラリアの現地校としての枠組みの中で、日本国憲法・教育基本法・学校教育法の基本概念をしっかりと把握し学習指導要領に準じた本校の教育計画・教育活動を実践していくものとする。

日本人としての自覚を持って国際社会を生きていくこころ豊かな子どもの育成  
～質の高い日本の教育を通して「自学自治」をめざす～

**<学校経営方針>** 「誠意と情熱」をもって、子どもたちとともに夢と可能性に挑戦し、感動を生み出す

**<重点課題>**

- ①生きる力としての学力の向上・・・進んで学ぶ子  
【わかった・できた・やってよかった】という授業の充実をメル校の文化に
- ②温かい人間関係づくりと自治的な実践力の向上・・・思いやりのある子  
【人権尊重（命の教育）】をメル校の校風に
- ③目標を持ち、集中して取り組む生活姿勢づくり・・・強い意志でやり抜く子  
【志高く・ねばり強く・ひたむき】な生き方をメル校の伝統に

**<教育目標設定理由・根拠または理由>**

本校はメルボルン市内中心地から車で40分くらい離れた静寂な住宅地におよそ85年前カトリック系プライマリースクールとして設置された学校（ホーリークロス・プライマリースクール）を、30年前に当時の日本人学校理事運営委員会が譲渡してもらい、今日のメルボルン日本人学校を設立した。学校は自然環境の豊かな地域に立地し、グレンアイラ市民の憩いの公園（プリンセスパーク）のすぐ前に位置している。保護者や地域の住民の方の学校に対する関心も高く、日本人学校への期待も大きい。地域に開かれた学校をめざす中、メル校デーなどの学校行事には多くの方が見学に来られる。

本校は、「現地理解教育の推進」というテーマのもと各学年で小テーマを設定して、子どもたちが自らの課題をもち、自分で解決する力・社会に目を向け生活する力を伸ばすことと共に、人としてのやさしさと忍耐力や寛容のこころを培い、国際人として世界にはばたく人材の育成をはかりたいと考え、教育目標を設定した。

〔課題〕

- ・ 地域に開かれた学校づくりの在り方を求めた教育活動の推進等
- ・ 教員の資質の更なる向上をめざした教育・研修の在り方の工夫
- ・ さまざまな体験的活動における活動場所の開拓と英語教育の推進
- ・ 少人数学級における個を大切にし、一歩すすんだわかる授業の工夫と実践
- ・ 日本の英語熱の煽りを受け、英語圏における世界的な日本人学校離れが進む中での児童・生徒数の継続的な確保をはかる
- ・ 海外において、外での運動や遊ぶ機会に恵まれない環境を踏まえ、体育・体育的活動にも力を入れ、逞しい体と情緒ゆたかなこころを育む

# メルボルン日本人学校の教育

「知識と情報」をもって子どもたちと共に夢と可能性に挑戦し、感動を生み出す

# メル校のめざす姿

進んで学ぶ子 思いやりのある子 思いを込めてやる子

# 自学 自治

育てたい姿

見通しをもつ

力を身に付ける

広げ、深める

確かめ、生かす

振り返り、願いをもつ

重点課題1  
生きる力としての  
学力の向上

見通しをもつ

学び方を身に付ける

身に付け、広げ、深める

繰り返し、確かめ、生かす

振り返り、目標をもつ



重点課題2  
温かい人間関係づくりと自治的な実践力の向上

願い、目標をもつ

仲間とともにやりきる

励まし高める仲間

共に喜ぶ仲間

誇りや希望をもつ



重点課題3  
目標をもち、集中して  
取り組む生活姿勢づくり

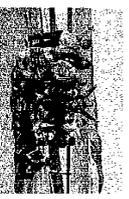
夢や願いをもつ

自らやりきる

困難を乗り越える

自信と誇りをもつ

強く生きる



強い意志でやりぬく子

思いやりのある子

進んで学ぶ子

# 自学 自治

講師と情報で  
取り組む  
職員集団



**核となる行事**  
入学式、質の高いものを創りあげるメル校の伝統と文化

**学を描く**  
入学式・学級閉き  
・願いの集約  
・規律ある生活  
・目標の共有

**確を築く**  
宿泊学習・  
・凝縮力・所蔵意識  
・他打ち、よさ

**向上・深化をめざす**  
メル校子一、運動会  
・所蔵感、連帯感・創造・工夫  
・活力ある校風・質の高い文化

**自立と絆**  
伝統を確かめ合う  
卒業生を囲ます会  
・受継ぐ伝統・誇りと感謝  
・改善すべき課題

**伝統を愛護せ、希望につなげる**  
卒業式・学級解散式  
・感謝と希望  
・自立・自信と自覚

### Ⅲ. 主な行事

#### 1. 昨年度（2012年）年間の主な行事内容

##### ① 始業式・入学式・着任式

4月16日には、側嶋総領事や清水理事長などの来賓を迎え、始業式・入学式を行った。プレップ・小学部・中学部48名で2012年度がスタートした。

##### ② ジャパンフェスティバル

5月20日の日曜日。ボックスヒルの会場で行われたジャパンフェスティバルに参加した。4月から一生懸命練習してきた「よさこいソーランよっちょれ」を小学部の子どもたちが、中学部の生徒たちは「南中ソーラン」をステージ上で元気に披露した。子どもたちの真剣さと動きが揃った演技は、オーストラリア人にもメル校をアピールする大きな要素となった。

##### ③ 児童生徒総会・プレップ・1年生を迎える会

5月2日の児童生徒総会や5月3日のプレップ・1年生を迎える会でも、子どもたちが主体的に取り組み、自分たちで会を運営している姿を見ることができた。

##### ④ 小・中学部宿泊学習

5月22日から25日にかけて小・中学部の31名がモーニントン方面に宿泊学習に出かけた。モーニントン半島の美しい自然の中で、多くのアクティビティーに取り組むことで、「自ら考え自ら動く、友達のために自分も頑張ろう。」そんな姿を見ることができた。

##### ⑤ メル校デー

9月9日の日曜日。メルボルン日本人学校にとって大きな行事の一つであるメル校デーが開催した。午前中の「ワトルタイム」は、中学部はグループごとに、現地の方々に日本の国を理解してもらうために、日本の文化・歴史や観光をテーマとして発表をした。小学部は「習字」「日本の古典的な遊び」など、グループに分かれて日本の素晴らしさをアピールした。午後は、「祭 de 番付」に取り組んだ。「バザー」は人気があり、溢れんばかりの人でごった返し、好評を博した。

##### ⑥ 運動会

10月28日、青空の下、絶好のコンディションの中でメルボルン日本人学校の第27回運動会が開催した。子どもたちは、競技や演技に「協力・全力・完全燃翔（焼）」のめあてに向けて自分の持っている力を存分に発揮していた。小学部の「御神楽」と「Victory」は、プレップから小学部6年生までが楽しく身体を動かし、一体となって美しく演じることができた。中学部の「南中ソーラン」は、見るたびに力強く逞しくなっているように感じた。さらに、「創作ダンス Pri-pa Dancelympic 2012」では、楽しい表現の中に日頃の体育で培った、技能や表現力が随所に盛り込まれ、見応えのあるダンスであった。

##### ⑦ 中学部交流学習

10月11日には、中学部がウエズレーカレッジとの交流学習を行った。英語で日本の文化の紹介をしたりゲームの説明をしたりした。昼食時には、ごく自然に英語で会話する姿があちこちで見ることができた。

⑧ 小学部交流学習

11月15日と12月5日に、交流校であるグラモーガン校のお友達がメル校にやってきた。日本語の勉強をしているグラモーガン校の子どもたちと、英語の勉強をしているメル校の子どもたちが、お互いの国の言葉を上手に使いながら会話をしたりゲームをしたりしている姿は大変微笑ましいものを感じることができた。

⑨ ミュージックフェスティバル

11月28日には小学部のミュージックフェスティバルを実施した。各学年が、普段の音楽の学習の成果を十分に発揮し、見学していた保護者の方々も大変満足した様子であった。

⑩ 小学部遠足

11月29日には、小学部の1～3年生とプレップが遠足でチェリーピッキングに出かけた。とても暑い日ではあったが、チェリーを採集し、満足して帰ってきた。3年生のリーダーとしての力がついたことや、低学年部がさらに交流を深めた行事となった。

⑪ オープンクラス

1月15日から23日までのオープンクラスには16名の子どもたちが、メル校の子どもたちと一緒に学習に取り組んだ。7日間という短い期間ではあったが、大変充実した時を過ごすことができた。

⑫ 水泳学習

1月31日、2月5日、2月14日の3日間、WAVES LEISURE CENTRE において、水泳学習を実施した。ホップ・ステップ・ジャンプ・チャレンジの4グループで学習に取り組み、成果を上げた。児童生徒も、先生の指示をしっかりと聞き、着実にこの3日間で泳力が伸びた。

⑬ 生活科・社会科見学

1月24日、1月25日、2月4日の3日間は、小学部6年生、プレップ・小学部1・2年生、小学部3年生の生活科や社会科見学を行った。6年生はビクトリア州議事堂を見学し、オーストラリアの政治や日本との関係を改めて考える良い機会となりました。プレップ・1・2年生のメルボルンZOOの見学では、友達と仲良く、多くの動物などを見学し、思い出に残る楽しい1日となった。小学3年生は、メルボルンミュージアムへ行った。

⑭ 授業参観・懇談会・保護者全体会

2月9日の土曜日に、授業参観・懇談会・保護者全体会を実施。小学部は学年ごとの発表や全体発表を行った。中学部は、英語・国語・数学の授業を実施。その後の保護者全体会において本年度の成果や来年度の教育計画について理解を図った。

⑮ 卒業証書授与式

3月14日に第27回の卒業証書授与式が行われました。小学部10名、中学部5名の児童生徒一人ひとりに卒業証書を手渡した。メルボルン日本人学校で培った友情はずっと続くものと確信しました。卒業生には、自分に与えられた時間の中で「1秒にベストを尽くせ」、努力したことは必ず結果として表れるので、1秒という時間を有効に活かすことが大切であるという話をして送り出した。

## IV. 教職員リスト (平成24年度)

### 1. 教職員

職 種 別		氏 名	所有免許	性別	主任・担任・担当教科	所属	着任年次
校 長	派遣教員	美谷添 久 男	小中	男	総括	岐阜	平成24年
教 諭	派遣教員	吉 村 信 次	小中	男	中2・3担任 数学・教科主任	福岡	平成23年
教 諭	派遣教員	白 田 貴 彦	小中	男	小3担任・体力づくり担当	宮城	平成23年
教 諭	派遣教員	伊 藤 仁	小中	男	小6担任・対外的行事担当	大阪	平成23年
教 諭	派遣教員	稲 垣 美 里	幼小中	女	小2担任・音楽担当・研究主任	茨城	平成23年
教 諭	派遣教員	永 森 墨 子	小中	女	小3担任・教務主任・中技家	神奈川	平成24年
教 諭	派遣教員	田 中 寿 和	小中	男	小5担任・主幹	愛知	平成24年
教 諭	派遣教員	今 井 克 彦	中	男	中1担任・中学部主任・生徒指導主事	熊本	平成24年
教 諭	派遣教員	元 木 修 一	中	男	小1担任・小学部主任・FAD	福島	平成24年
教 諭	現地採用	藤 田 厚 子	英語	女	英語科主任・⑩56英語・⑩123英語 FAD	現地	平成19年
教 諭	現地採用	アンジェラ ニコラッツォ	ESL	女	⑩⑩ESL	現地	平成24年
教 諭	現地採用	ロビン キャンフィールド	ESL	女	⑩⑩ESL	現地	平成24年
教 諭	現地採用	渡 邊 あおい	小	女	ブレップ・FAD	現地	平成23年
事務主任	現地採用	葛 西 秀 子		女	事務主任	現地	昭和61年
事 務	現地採用	今 井 教 之		男	事務吏員	現地	平成24年
用 務	現地採用	ドナルド リム		男	校務	現地	平成21年

### 2. 教職員取得免許状

免許状の種類	人 数
小学校免許状	8人
小学校免許状 (TESOL)	1人
中学校免許状 (国語)	1人
中学校免許状 (社会)	2人
中学校免許状 (数学)	1人
中学校免許状 (理科)	1人
中学校免許状 (英語)	2人
中学校免許状 (体育)	2人
中学校免許状 (TESOL)	1人
大学院卒業専修免許状 (理科)	1人
大学院卒業専修免許状 (英語)	1人

## V. 職員の出勤率 (平成24年度)

### 1, 教職員数

16名 正規教職員数 = 12名 非常勤 = 4名 (1名週5日、2名週3日、1名週4日)

### 2, 出勤日数

2987日

$205日 \times 12名 + 147日 \times 1名 + 121日 \times 2名 + 138日 \times 1名 = 2987日$

### 3, 病欠延べ日数

6日

### 4, 出勤率

$1 - (6日 \div 2987日) = 0.99799 \quad 99.8\%$

## VI. 教員の研修

### 1, 研修日数

11日

### 2, 研修実施日

4 / 13・5 / 15・5 / 19・5 / 21・6 / 22・7 / 2・9 / 16・11 / 11 / 16・12 / 20・2 / 16

### 3, 研修内容

#### ① 校内研修

- ・全学年において、新学習指導要領に基づく指導のあり方について単元計画の見直しを図ったり、指導教材の改善を図ったりすることで教育活動の充実につなげた。また、軽度発達障害を抱えた児童への対応方法の研修や全職員がファーストエイド資格取得の講習を受けるなど緊急時における対応ができる体制づくりを行った。

#### ② 校外研修

- ・全教員を対象にして、ヤクルトオーストラリアを訪問し、オーストラリアでの生産状況を参観したり販売網の説明を聞いたりして、教員としての資質向上に役立てた。

### 4, 研修費用

- ・平成24年度の職員研修費用はA\$600であった。

## Ⅶ. 児童の出席率

平成24年度

	P	G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	合計	授業日数	延べ日数	欠席人数
4月	2	6	3	6	6	3	6	6	4	5	47	10	470	8
5月	2	6	3	6	6	2	6	6	4	5	46	23	1058	6
6月	2	6	4	6	6	2	6	6	4	5	47	20	940	21
7月	2	6	4	6	6	2	6	6	4	5	47	20	940	7
8月	2	7	4	6	6	2	7	6	4	5	49	15	735	4
9月	2	7	4	6	6	2	7	6	4	5	49	15	735	0
10月	2	10	4	6	7	2	7	6	4	5	53	23	1219	6
11月	3	10	4	6	7	2	7	6	4	5	54	21	1134	12
12月	3	10	4	6	7	2	7	6	4	5	54	13	702	11
1月	3	10	5	6	7	3	9	8	4	5	60	13	780	27
2月	4	10	6	6	7	3	10	8	4	5	62	20	1240	21
3月	5	10	6	6	7	3	10	7	4	5	63	10	630	4
												203	10,583	127

出席率は  $1 - (127 \div 10583) = 0.9879$  98.8%

## Ⅷ. ナップランの結果

- 1, 平成24年度実施の3年、5年、7年、9年生におけるNAPLANテストの  
平均値 (Reading, Writing, Spelling, Grammar & Punctuation and Numeracy)  
について

① 試験について

実施学年・・・3年生・5年生・7年生・9年生

実施回数・・・年1回 5月中旬ごろ実施

試験の問題がすべて英語で書かれており、しかもオーストラリアのカリキュラムに基づいたテスト内容であり、日本の文部科学省による学習指導要領に基づいた教育内容とは、相違している。そのため、このテストの結果で児童・生徒の学力を結果づけることはできない。ただ、その結果の分析からある程度の傾向を読み取ることはできる。

② 試験結果について

英語科（現地校では、国語に当たる教科、本校では、ESL (English As A Second Language) を行っている。Reading, Writing, Spelling, Grammar & Punctuationについての本校の結果は、当然現地校より下回っている。ただし、英語が母国語でなく第2言語として学習していることを考慮に入れるとレベルはかなり高い。また、日本の基準と比較した場合、ESLの授業とG5（5年生）から行っている英語の授業の成果により、英検の合格率にも裏付けられている通りトップクラスの英語指導実績であるといえる。

英語の4種のテスト項目の中で、Spellingの成績の平均値がとくに下回っている。また、得点も10%に満たない児童生徒の割合も、この項目が一番高かった。しかし、その中でGrammar & PunctuationとReadingの成績が、言語に関する他の項目に比較して、割合よい。これは、おそらくESLの授業と英語の授業が効果的に実践され、成果を上げているからと考えられる。







## X. 学校評価

### 1. 保護者アンケート結果 (%)

(保護者回答)

- |   | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|---|----|----|----|---|---|
| ① 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。 <span style="margin-left: 20px;">よく当てはまる</span> <span style="margin-left: 20px;">どちらとも言えない</span> <span style="margin-left: 20px;">全く当てはまらない</span> | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 48 | 30 | 17 | 5 |   |
| ② メル校ならではの特色ある教育活動が行われている。  | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 43 | 44 | 3  |   |   |
| ③ 教師は、子どもの能力や努力をよく見極めている。   | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 60 | 36 | 4  |   |   |
| ④ 教師は、子どもとよく話をし、よく理解している。   | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 65 | 30 | 5  |   |   |
| ⑤ 教師は、教育活動の内容等を懇談や通信等でよく伝えている。  | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 52 | 44 | 4  |   |   |
| ⑥ 学校に行ってみると雰囲気がよく、子どもたちも生き生きしている。   | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 78 | 28 | 4  |   |   |
| ⑦ 学校全体が、親の意見にもよく耳を傾け、相談しやすい雰囲気である。  | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|   | 59 | 39 | 2  |   |   |

(児童・生徒回答)

- |                         |    |    |    |   |   |
|-------------------------|----|----|----|---|---|
| ⑧ 授業がわかりやすい。            | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|                         | 59 | 28 | 13 |   |   |
| ⑨ 学級が楽しく、友だちとも仲良くやれている。 | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|                         | 73 | 20 | 7  |   |   |
| ⑩ 学校へ行くのが楽しい。           | 5  | 4  | 3  | 2 | 1 |
|                         | 68 | 28 | 4  |   |   |

それぞれの項目の評価平均は、下記の通りである。

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| (1) 児童生徒の学校に対する満足度 (3項目) | (5点満点中 4.54点) |
| (2) 保護者の学校に対する満足度 (7項目)  | (5点満点中 4.50点) |
| (3) 教職員への満足度             | (5点満点中 4.10点) |

# V I 会計報告

Financial Performance and position

## Operating Statement Summary for the year end 31 December 2012

<u>Expenses</u>	<u>2012 year</u>	<u>2011 year</u>	<u>Revenue</u>	<u>2012 year</u>	<u>2011 year</u>
Wages	337,707	332,393	Tuition fees	333,124	323,946
Other Staff Related Expenses	3,101	2,994	Receipts for Activities	2,339	3,246
Superannuation	30,844	33,998	Enrolment fees	8,600	6,000
Prov for Long Service Leave	10,947	10,006	Subsidy – Japanese Govn't	50,264	61,511
Other Operating Expenses	100,234	105,732	Subsidy – Zaidan	4,259	3,466
Buildings & Grounds	23,066	16,946	Interest	46,390	40,628
Depreciation	72,035	74,367	Donations & Contributions	2,750	3,100
Total Operating Expenditure	577,934	576,436	Other Income	1,982	136
			Grants from State Govn't	33,690	32,388
			Grants from Aust Govn't	115,770	110,860
			Other Aust Govn't Subsidy	7,450	6,840
			Total Operating Revenue	606,618	592,121
			Capital Receipt from Jap Govn't	0	38,960
			Capital Receipt from Aust Govn't	5,180	0
			Total Revenue	611,798	631,081
			Net Profit	33,864	54,645

## Statement of Financial Position as at 31 December, 2012

<u>Current Assets</u>	<u>2012 year</u>	<u>2011 year</u>	<u>Current Liabilities</u>	<u>2012 year</u>	<u>2011 year</u>
Petty Cash/General Account	219,577	220,392	Accrued expenses	19,549	13,762
Term Deposit	943,504	795,945	School Bonds	26,500	20,000
Prepayments	25,531	21,641	Provisions for Long Svc Leave	32,460	40,163
Interest receivable	18,156	19,888	Revenue received in advance	0	0
Government Grant Receivable	3,705	44,793		78,509	73,925
Total Current Assets	1,210,473	1,102,659			
			<u>Non Current Liabilities</u>		
<u>Non-Current Assets</u>			Provisions for Long Svc Leave	9,602	5,182
Building at cost	2,396,311	2,357,545	Total Liabilities	88,111	79,107
Additions	1,436	38,960			
Loss of disposal	0	(193)	<u>Net Assets</u>		
Less Acc depreciation	(1,103,366)	(1,042,898)	Accumulated surplus	2,819,057	2,764,412
	1,294,381	1,353,414	Operating surplus	33,864	54,645
			Total Member's Funds	2,852,921	2,819,057
Furniture & fittings at cost	150,736	154,076			
Additions	3,854	515			
Less Acc depreciation	(120,845)	(119,857)			
	33,745	34,734			
Educational equipment at cost	326,879	340,175			
Additions	833	11,355			
Loss for disposal	0	(459)			
Less Acc depreciation	(306,999)	(325,446)			
	20,713	25,625			
Library books at cost	77,648	77,085			
Additions	968	563			
Less Acc depreciation	(73,111)	(72,131)			
	5,505	5,517			
Freehold land at cost	376,215	376,215			
Total Non-Current Assets	1,730,559	1,795,505			
Total	2,941,032	2,898,164	Total	2,941,032	2,898,164